

## 養浜工の砂はどこから？



現在、山元海岸ではS2号ヘッドランドの北側と南側で、2件の養浜工事を行っています。

養浜工とは、砂が消えた海岸に人の手で砂を運んできて砂浜を回復させ、波の力を弱めて堤防や家を守ります。

また、ヘッドランドが養浜工で回復させた砂を、沖へ逃げにくくして守るので、ヘッドランドと養浜工を上手に組み合わせることによって、砂浜を守るようにしています。

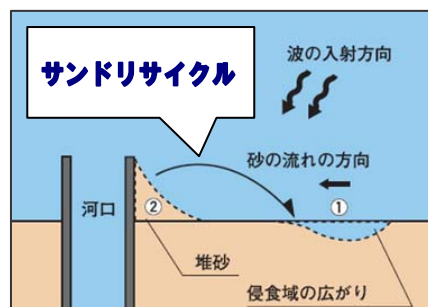
## 養浜工で運んでくる砂はどこから？



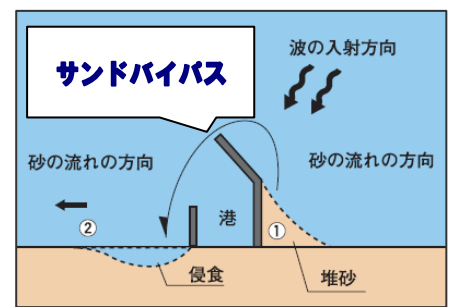
現在山元海岸で行っている養浜工では、荒浜工区と相馬工区から砂を運んできています。

これは養浜工のサンドリサイクルとサンドバイパスと呼ばれる方法で、海岸侵食により流されて溜まった砂を、侵食により削られた場所へ運んで来ています。

また、今回ヘッドランドの南側で行っている養浜工事では小碎石（粗粒材）と砂を併用して投入しています。これは沖合いへ流れにくい粗粒材で、より砂の流失を防ぐ効果が期待されるからです。



波によって削られ、②に溜まった①の砂を、再び①に戻し砂浜を復元します。



港で遮られた砂の流れによって①に溜まった砂を、逆に侵食された②に運び人工的に砂浜を復元します。

全国で海岸侵食が問題となっている今、養浜工とヘッドランドは色々な地域で活用されています。





# Topics

## 職場体験学習(現場見学)



S2号ヘッドランド南側

1月20日(火)、仙台市立郡山中学校2年生3名の生徒さんが山元海岸の見学に訪れました。

S2号ヘッドランド付近は工事着工前、激しい海岸侵食のために、ほとんど砂が無い状態でした。ヘッドランドを整備し、養浜工を行うことで、現在砂浜は少しずつ回復してきています。

生徒さん達には養浜工で回復させたその砂浜に降りてもらって、海に手を入れたり、海藻を探したり、砂浜のある海岸を楽しんでいただきました。

## S2号ヘッドランド付近の工事着工前と現在

約6年前(H15.3月頃)



現在(養浜工事中)



見学の時にみんなが歩いた場所は、昔は豊か砂浜が広がっていたのに、約6年前にはほとんど砂浜は無くなってしまっていたんです。現在はここまで回復してきました!!



## 海岸つぶやき日記

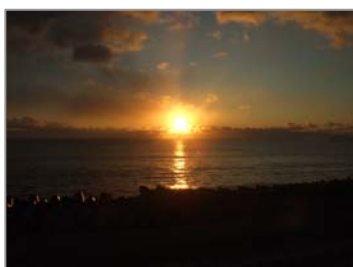


ある日曜日の朝早起きして、岩沼海岸(蒲崎海岸)へ今年初めての日の出を拝みに出かけました。

前日までの低気圧の通過に伴い雲が多く残っていたので見られるかどうか不安ながらも海岸へ急いで向かいました。現地に着いたら、まだ薄暗い中堤防をウォーキングされている方もいらっやって驚きました。

じわりじわりと身体の芯まで冷え切るような寒さでしたが、待ちに待った太陽の光を迎えた時には、心が清められたような気分になりました。

周辺は誰もいなく波の音だけしか聞こえない神秘的な環境と太陽放射のスペクトルを体感して、今年も一年間頑張ろう!と誓ったのでした。



本年も「安全とやすらぎの海岸をめざして」頑張っていくしますので、よろしくお祈りします!